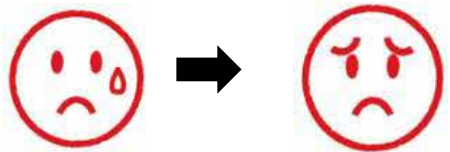


建設業

回答率：100% (25/25)

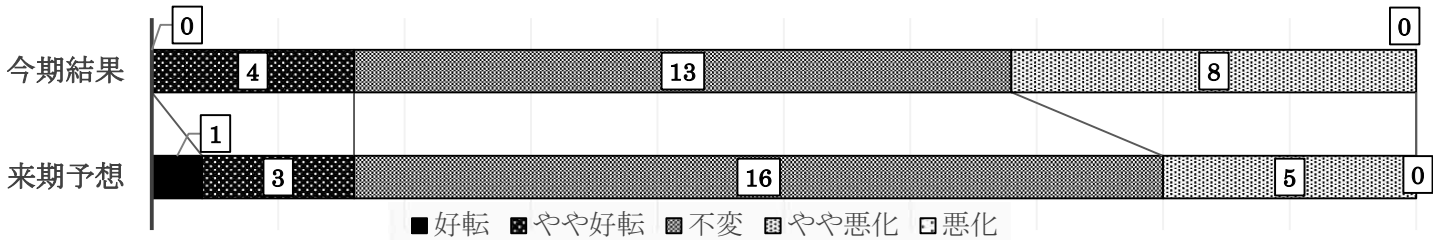
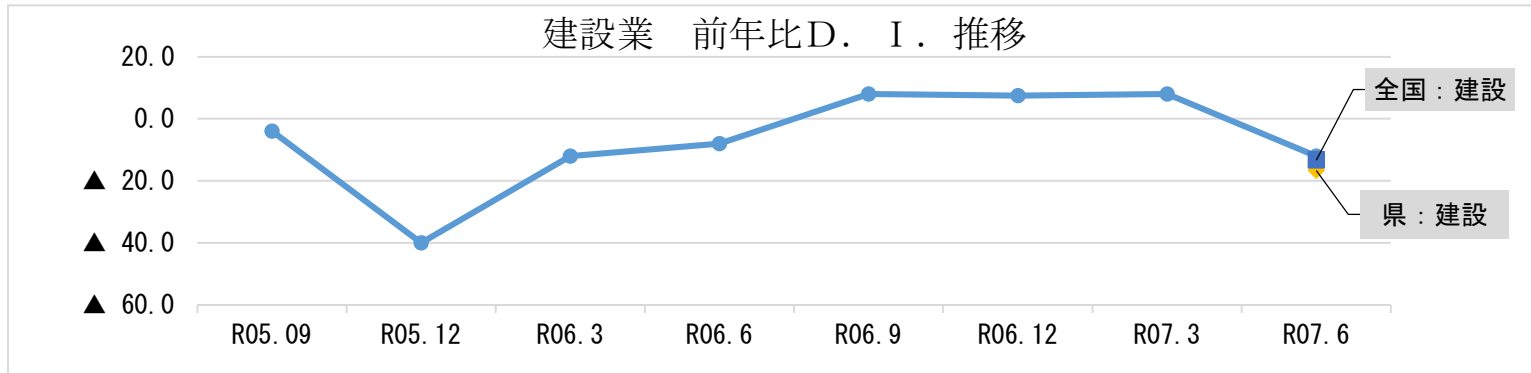


今期 見通し



■丹波市の景況推移

DI は前期までほぼ横ばいで推移していたが、今期はやや悪化。公共工事の減少や人手不足、原材料費の高止まりなど複合的な要因が重なり、地域全体として景況感は後退傾向にある。



■丹波市の景気動向

【丹波市の今期の景況】

公共工事の発注件数が減少、売上・受注件数ともに落ち込む。新築物件はほとんどなく資材高騰も続く中で利益確保が困難な状況が続く。一部業種では需要が堅調だが全体では人手や設備の不足により、受注機会の損失が生じている。

【丹波市の来期の景況予想】

公共工事・新築需要の回復は見通せず、現場人員の確保も難航している。資材・経費の高止まりも解消されておらず、建設業全体の回復には引き続き時間がかかると見込まれる。

■全国の景気動向

建設業の業況DIは引き続き横ばいとなっている。仕入価格の高止まりや物価上昇が依然として企業収益を圧迫しており、価格転嫁の遅れも依然として課題となっている。人手不足は深刻な状況が続く、現場の対応力や生産性にも影響を及ぼしており、今後もしばらくは慎重な見方が続くと思われる。

■県下の景気動向

公共工事の減少や資材費の高止まりにより、建設業の収益環境は依然として厳しい。新築需要の低迷が続く、リフォーム需要も利益確保が難しい状況である。人手不足も深刻であり、今後の見通しは不透明である。

■地区ごとの回答（前年同期比）

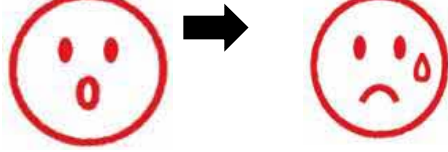
	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い (増加+やや増加)	1	1	0	2	0	1	5	20.0%
不変	1	8	0	2	1	0	12	48.0%
悪い (悪化+やや悪化)	1	3	1	0	2	1	8	32.0%
合計	3	12	1	4	3	2	25	100.0%

製造業

回答率：100% (25/25)

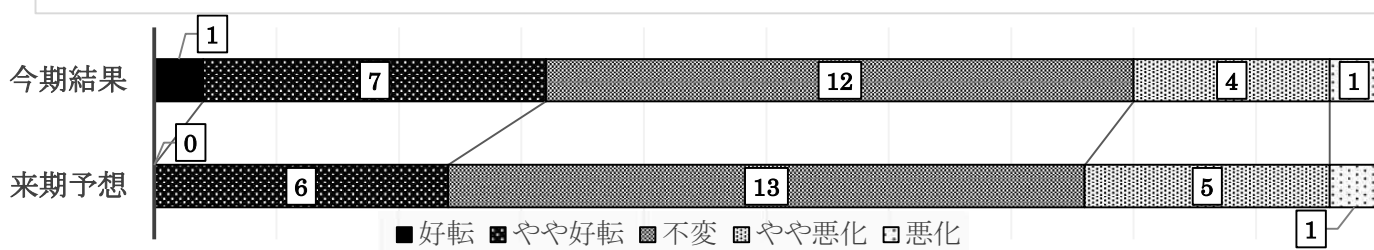
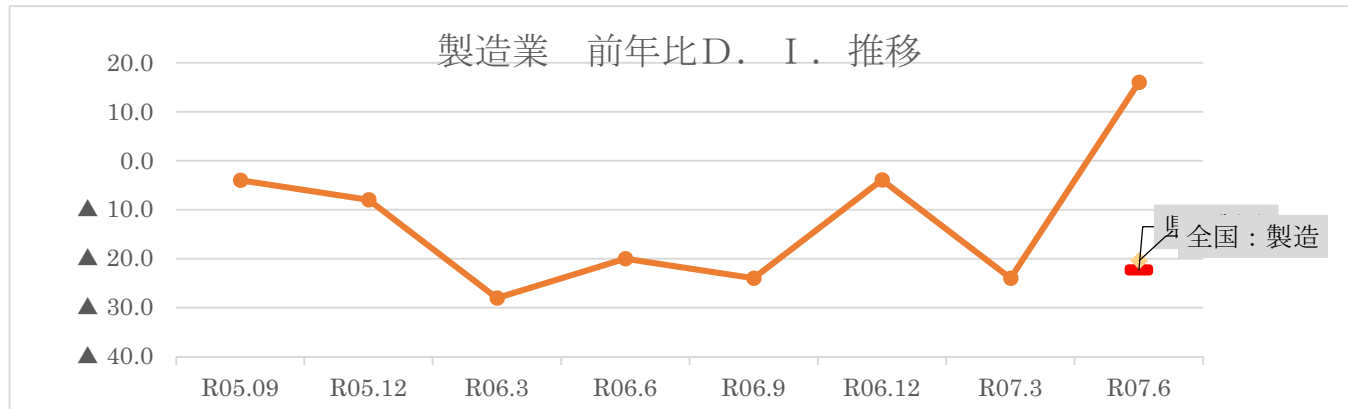
2025 年 4 月～6 月期調査

今期 見通し



■丹波市の景況推移

前回までDI値はマイナス圏が継続していたが、今期は回復傾向であった。受注依頼が増えている業種もあるが、専門技術職の人手不足と人件費の高騰が課題である。材料費・人件費高騰で依然厳しいことが見込まれる。



■丹波市の景気動向

【丹波市の今期の景況】

売上高は増加傾向にある事業者も存在する一方、原材料費・人件費の上昇が多く企業で深刻な負担となっている。同業他社の廃業・縮小により新たな受注機会を得る事業者も多いが、それに伴う設備投資・資金繰りの不安も顕在化。価格転嫁が困難なケースも多く、利益圧迫が続いている。

【丹波市の来期の景況予想】

来期は、受注の一部持ち直し期待はあるものの、米国関税や人件費・材料費高騰で利益圧迫継続。人材不足と資金繰り不安が重荷となり、全体的に依然厳しいことが見込まれる。

■全国の景気動向

売上額・資金繰りDIが小幅に低下、採算DIはわずかに低下、業況DIはわずかに上昇した。全体として原材料費の高騰、外需の不透明感が重なり、採算や資金繰りが厳しい。機械・金属関連は米国関税や外需鈍化の影響で収益減少傾向である。

■県下の景気動向

売上額・収益DIともに低下し業況DIはマイナス圏。しかし、次期予想ではマイナス圏ではあるものの、売上・収益DIともに改善する見込みである。

■地区ごとの回答（前年同期比）

	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い (増加+やや増加)	0	5	2	1	0	1	9	36.0%
不変	2	3	1	2	2	1	11	44.0%
悪い (悪化+やや悪化)	0	1	2	0	1	1	5	20.0%
合計	2	9	5	3	3	3	25	100.0%

小売、卸売業

回答率：100% (25/25)

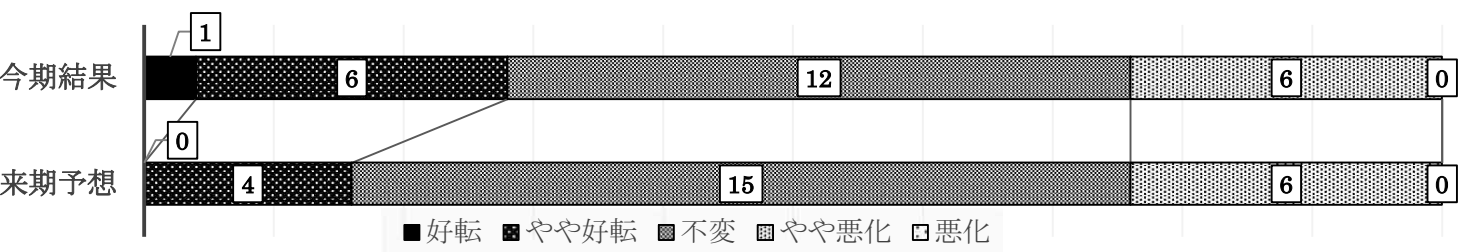
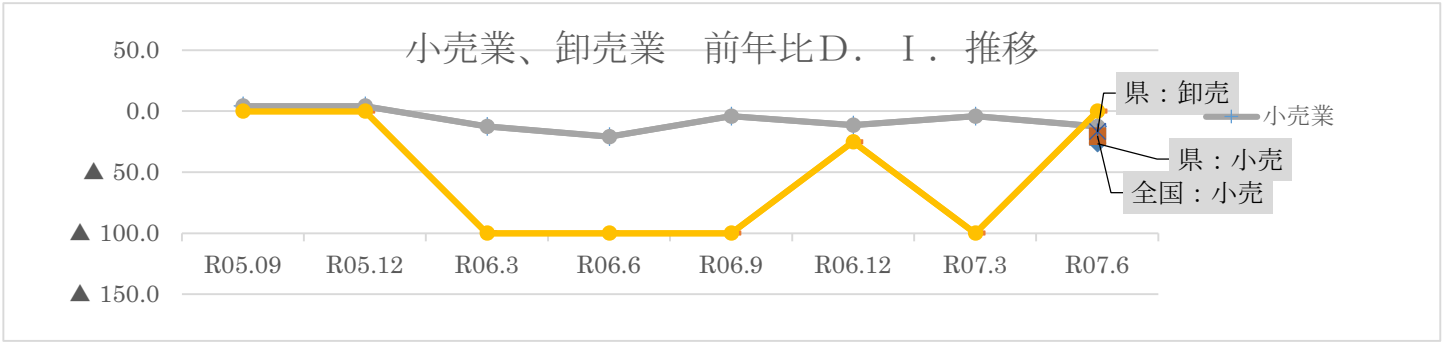
良い やや良い 普通 少し悪い やや悪い 悪い

今期

見通し

■丹波市の景況推移

物価高騰や猛暑の影響を受け、食料品や酒類、衣料品販売で売上低迷が続く。一方で暑さ対策商品や災害関連商品は好調。今後の市況に不安が残る。



■丹波市の景気動向

【丹波市の今期の景況】

小売・卸売業は、物価高や猛暑の影響が大きく、食料品や酒類、衣料品販売で売上低迷が続く。一方で、暑さ対策商品や災害関連商品は好調。中古車販売では利益圧迫が見られ、燃料小売は一時的に利幅改善も、今後の市況に不安が残る。

【丹波市の来期の景況予想】

短期的な景況感は依然として低調であるものの、中長期的には若干の改善が期待される状況。特に卸売業・小売業においては引き続きコスト増や消費回復の鈍さが懸念材料となっている。

■全国の景気動向

食料品関連では、生活必需品の需要は維持、売上・採算がやや好転したが、価格転嫁の動きは鈍い。衣料品関連は高齢化やオンライン販売の影響で客集が減少、売上改善は小幅に留まる。耐久消費財関連は季節要因で売上伸長、仕入れ価格の高騰が続くも採算DIは改善。全体としては若干の改善がみられたが、継続的な回復に向け注力が必要。

■県下の景気動向

兵庫県の4月～6月期における小売業・卸売業は、行楽需要やインバウンド効果で回復傾向が見られた一方、物価高の影響で消費者の節約志向が強まり、業種や業態により明暗が分かれる結果となった。

■地区ごとの回答（前年同期比）

	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い (増加+やや増加)	1	3	0	0	0	1	5	20.0%
不変	2	3	0	4	2	1	12	48.0%
悪い (悪化+やや悪化)	3	3	0	1	1	0	8	32.0%
合計	6	9	0	5	3	2	25	100.0%

飲食・宿泊、サービス、その他業種

回答率：100% (25/25)

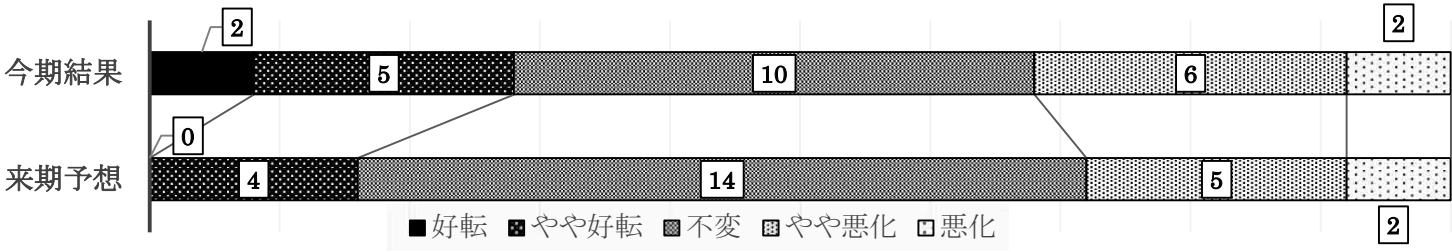
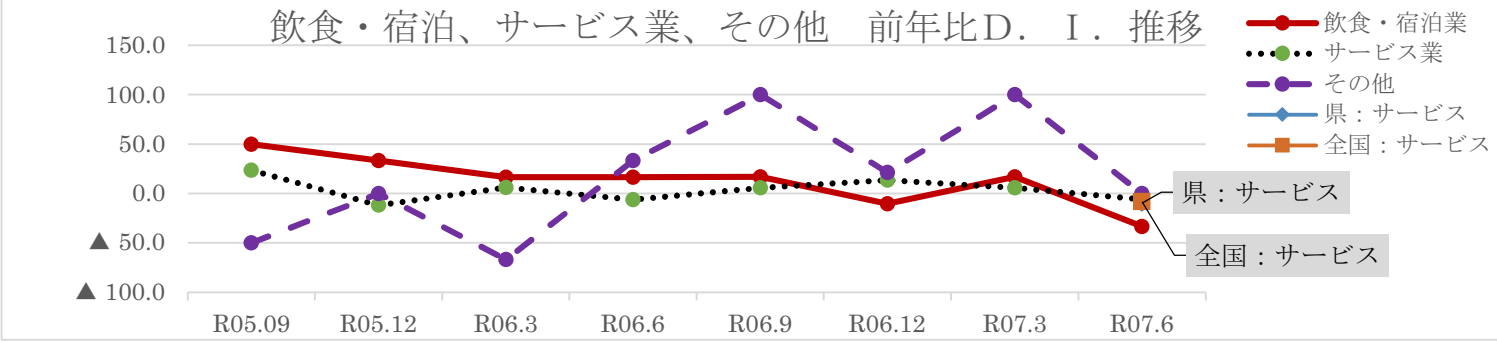
2025年4月～6月期調査

今期

見通し

■丹波市の景況推移

個人旅行を中心に観光・宿泊需要が緩やかに回復し、市外からの来訪も増加している。しかし、物価高や最低賃金の引き上げ、人手不足の影響により、小規模事業者を中心に厳しい経営状況が続いている。今後、夏季の観光やイベントによる人流増加が見込まれるものの、採算確保は引き続き課題となる見通しである。



■丹波市の景気動向

【丹波市の今期の景況】

個人旅行を中心に観光・宿泊需要が緩やかに回復。市外からの来訪も増えているが、団体利用やイベント需要は限定的で、売上の回復は一部にとどまる。原材料費や光熱費の高止まりに加え、最低賃金引き上げの影響も残り、小規模事業者では人手不足とコスト増による厳しさが続く。

【丹波市の来期の景況予想】

夏季の観光需要やイベント開催で人の流れは増加が見込まれ、宿泊・飲食業では予約の回復も期待される。ただし物価高と人手不足は続き、経営の重荷に。最低賃金の再引き上げも視野に入り、小規模事業者にとっては採算確保が難しい状況が続く見通し。消費も依然として慎重な動きが残る。

■全国の景気動向

飲食は都市部や観光地でインバウンド需要が堅調だが、地域は限定的。気温上昇により飲酒機会も増えやや上向き。宿泊は都市部で出張・訪日客の回復が進み、稼働率が上昇。観光地では連休などで宿泊数・単価ともに好調。地方も観光施策で持ち直し傾向だが、物価高と人手不足が足かせに。

■県下の景気動向

宿泊・飲食サービス業は物価高や人手不足の影響で全体に厳しく、都市部や観光地の一部で好調な動きも限定的。一方、その他サービス業は個人消費やイベント需要の回復で緩やかに改善。地域や業種に差があり、明るさは見えつつも先行きには慎重な見方が続く。

■地区ごとの回答（前年同期比）

	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い (増加+やや増加)	1	1	2	1	0	0	5	20.0%
不変	1	6	0	3	1	1	12	48.0%
悪い (悪化+やや悪化)	3	2	2	0	1	0	8	32.0%
合計	5	9	4	4	2	1	25	100.0%